



適用及び使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使 用 方 法	1-ナフタレン酢 酸を含む農薬 の総使用回数
メロン	ネット形成促進 及び 果実肥大促進	1000～ 4000倍	100～200mℓ/株	縦ネット発生期～ 横ネット発生期 但し、収穫3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
かぼちゃ	着果促進	10～ 40倍	1花当たり0.5mℓ	開花当日	1花当 り1回	雌花柱頭に噴霧	1花当たり1回





効果・薬害等の注意

- 本剤の所要量を所定量の水に希釈し、よくかき混ぜてから散布する。調製した薬液はその日の内に使用する。
- 本剤は植物ホルモン剤であり散布条件によって薬効・薬害に影響が現れやすいので他剤との混用はさける。
- 極微量で植物ホルモン効果を示すので周辺作物にかからないようにする。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布する。
- メロンに使用する場合は次の事項に注意する。
 - ①ネット形成促進及び果実肥大促進の目的で使用し、いわゆるノーネットメロンには使用しない。
 - ②夏期高温時の高濃度散布は、果梗部及び葉柄基部が白色化して肥大する場合があるのでさける。
 - ③果実肥大初期に散布した場合、裂果する場合があるので注意する。
 - ④使用の際は薬液が葉先から滴り始める程度に散布する。
 - ⑤本剤を散布した2～3日後に茎葉が湾曲する場合があるが、本剤の生理活性の現れであり、果実の生育には影響がない。
- かぼちゃに使用する場合は次の事項に注意する。
 - ①ハンドスプレー等で雌花の柱頭に向けて噴霧する。
 - ②品種によっては、効果が劣ったり、種子不稔や空洞化などの薬害を生じることがあるので、本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分に確認してから使用する。
- 使用後の散布器具等は十分洗浄する。
- 本剤は植物ホルモン剤であるので、使用に際して使用時期、使用量、使用方法などを誤らないように注意し、**特に初めて使用する場合や新品種に使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受ける。**

安全使用上の注意



- 誤飲などのないように注意する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 散布の際は農薬用マスクなどを着用する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密栓し、火気・直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。

